

千葉県で「サイバーセキュリティ対策セミナー」を初開催

～サイバー犯罪の実態、ガイドラインや費用を抑えた対策等を学ぶ～

日本損害保険協会関東支部千葉損保会（会長：坂井 泰生・三井住友海上火災保険株式会社 千葉支店長）では、近年急増するサイバー攻撃について、事業者に対策の基本的を学んで備えてもらう観点から3月13日（金）千葉市の千葉商工会議所第1ホールにおいて、「サイバーセキュリティ対策セミナーin 千葉」を開催しました。

当損保会が、千葉県において同セミナーを開催するのは初めてとなり、当日は中小企業関係者等を中心に96名が参加しました。

日 時：2026年3月13日（金）15時～17時

場 所：千葉商工会議所第1ホール

主 催：日本損害保険協会関東支部千葉損保会

後 援：千葉県 千葉県商工会議所連合会 千葉商工会連合会 千葉商工会議所 千葉損害保険代理業協会
協 力：千葉県警察本部

本セミナーの開催に先立ち、主催者を代表して、千葉損保会の坂井 泰生会長から、「サイバー攻撃は、企業規模や知名度に関係なく、すべての組織が攻撃対象となる時代です。自分の会社も例外ではないとの前提に立って対策を講じることが必要です。本日のセミナーが皆様の組織を守る具体的な行動につながれば幸いです。」と挨拶がありました。

第1部では、千葉県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課・警部補の齋藤 善久氏から、「サイバー攻撃等の現状について」と題して、ランサムウェアの実態や対策について動画を交えて解説があり、加えてSNS型投資詐欺・ロマンス詐欺、フィッシング詐欺・サポート詐欺などについても手口の紹介がありました。「暗号化データは警察でも復旧できない。十分に対策してもセキュリティホールをゼロにすることはできない点に注意が必要である。ソフトウェアは常に最新バージョンにアップデート・ウイルス対策ソフトの導入等を検討してほしい」と訴えました。

第2部では、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）セキュリティセンター・リスクマネジメント部セキュリティ制度グループ・エキスパートの安田 進氏から「中小企業におけるサイバーセキュリティ対策について～費用を抑えてできる対策、ガイドライン等の基本を学ぼう～」と題して、ランサムウェアによる中小企業の被害は66%、VPN機器やリモートデスクトップからの侵入が84%以上、調査・復旧費用に500万円以上必要なケースが72%である点について解説があり、また、情報セキュリティ対策投資を行っていない企業は約6割となり、「必要性を感じない、費用対効果が見えない、コストがかかりすぎる」等が主な理由であるとの説明があった。「平時は『中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン』を実践すること、経営者はシステム部に任せるスタンスではなく、経営者が危機感をもって対応すべき」との指摘があり、また、「『見守り・駆けつけ』等をワンパッケージで安価にまとめた『サイバーセキュリティお助け隊サービス制度』があるため、経営上の理由で十分な費用をかけられない場合等に活用してほしい」と呼び掛けました。

第3部では、千葉損保会を代表して、MS&ADインターリスク総研リスクマネジメント第三部危機管理・サイバーリスクグループ・上席コンサルタントの田中 響氏から、「サイバー攻撃の被害や影響の実態、対応方法等について」と題して、最近のサイバー攻撃は金銭獲得を目的にあらゆる企業が狙われており、サイバー攻撃で事業を一時中断せざるを得ないケースや、自社だけではなく取引先に影響が波及する可能性がある点に注意喚起があり、「平時からサイバーセキュリティ経営ガイドラインの重要10項目を実践すること。特にサプライチェーン全体のセキュリティ向上を目的に発注元企業が委託先企業に適切な対策を促すこと。ステークホルダーを含めた関係者とのコミュニケーションを推進することが大切である」と解説がありました。

最後に、千葉県損害保険代理業協会 副会長の積田 淳氏から、閉会挨拶があり、「本日は各分野の専門家から最新状況についてご解説いただいた。本日得た知識を関係事業者の皆様に伝えることは代理店の使命であり、引続き、事業者の安定した事業継続を支援して行きたい。」との挨拶があり、盛況のうちに幕を閉じました。

また、別紙のとおり参加者へのアンケートでは、9割以上の参加者から「参考になった」と回答があり、「ウイルス侵入の動画等で様々なサイバー攻撃について学んだ」「ガイドラインの実践の他、費用をかけずにできる対策がある点を知ることができた。」「ステークホルダーとのコミュニケーションが大切であることを学んだ。」「取引先のセキュリティ対策を確認していきたい。」などの感想が寄せられました。

また、サイバーセキュリティ対策についても、「すぐにでも何か対策を講じようと思う」(38%)や「今後何か対策を考える必要があると感じた」(54%)との回答があり、今回のセミナーに参加した方々のサイバーリスクの意識の変化や行動変容に結びついたことが確認できました。

当損保会では、今後も県警察など関係機関と連携して、安全で安心なサイバー空間の実現に貢献してまいります。



坂井損保会長の開会挨拶



千葉県警・齋藤警部補の講演



IPA・安田エキスパートの講演



千葉損保会からの講演



積田千葉代協副会長の閉会挨拶



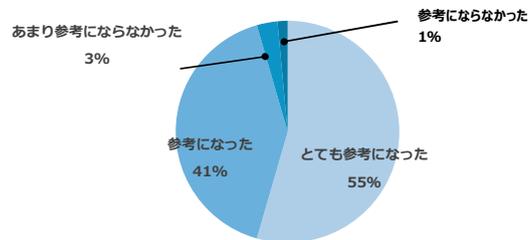
会場の様子

サイバーセキュリティセミナー in 千葉 アンケート結果 (2026年3月13日開催)

セミナー参加者数	96	アンケート回収率	70.8%
アンケート回収数	68		

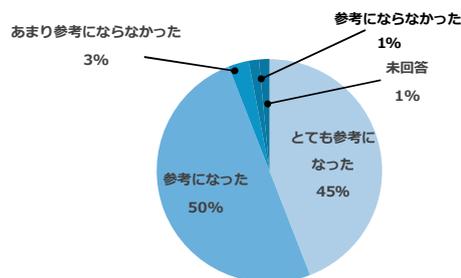
1. 講演Ⅰ「サイバー攻撃等の現状」はいかがでしたか？

とても参考になった	37
参考になった	28
あまり参考にならなかった	2
参考にならなかった	1



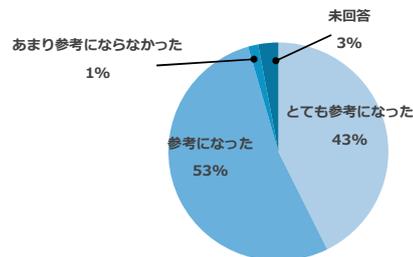
2. 講演Ⅱ「事例から学ぶ！中小企業におけるサイバーセキュリティ対策」はいかがでしたか？

とても参考になった	30
参考になった	34
あまり参考にならなかった	2
参考にならなかった	1
未回答	1



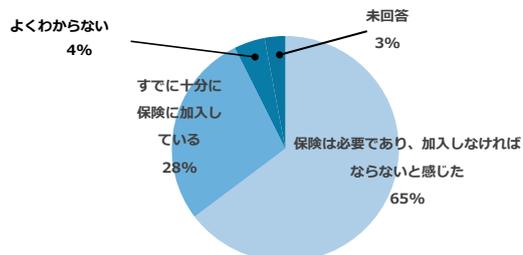
3. 講演Ⅲ「サイバー攻撃の被害や影響の実態、対応方法等」はいかがでしたか？

とても参考になった	29
参考になった	36
あまり参考にならなかった	1
参考にならなかった	0
未回答	2



4. サイバー攻撃に対して保険の必要性について感じたことをお聞かせ下さい。

保険は必要であり、加入しなければならないと感じた	44
すでに十分に保険に加入している	19
保険の必要はないと思った	0
よくわからない	3
未回答	2



5. 本日のセミナーを聞いて、サイバー攻撃に対してご自身の意識がどう変わったかお聞かせください。

すぐにも何か対策を講じようと思う	26
今後何か対策を考える必要があると感じた	37
特に対策の必要性は感じなかった	1
よくわからない	2
未回答	2

